

令和7年度 スッキーニ 技術情報 No. 3

大船渡農業改良普及センター
電話：0192-27-9918
FAX：0192-27-9936

- ① **9月まで収穫**できる**抑制作型を導入**し、収益向上に取り組みましょう。高温期の育苗は徒長しやすいため、温度管理やかん水に注意しましょう。
- ② **防風対策**には、**支柱**や**ソルゴー等の障壁作物の利用、防風ネットの設置**が有効です。
- ③ 梅雨時期の病害防除は、**降雨前の防除を基本**とし、病気の蔓延を防止しましょう。

1 抑制作型の栽培管理

(1) 直播

適度な土壌水分がある状態で、1穴に1粒ずつ、深さ2～3cmに播種、覆土し鎮圧します。播種位置がくぼんでいる状態では水が溜まりやすいため、覆土後はやや盛り上がった状態とします。

欠株への補植用として、セルトレイ1枚程度に予備の苗を育苗しておくことがおすすめです。

(2) 育苗管理

抑制作型は高温期の育苗となります。**高温だと、苗が徒長しやすくなりますので、温度管理やかん水に注意**しましょう。

(3) 摘果

開花初期は着果負担を軽くし、根を張らせて草勢を維持することで、後半の収量を確保します。

(4) 追肥

定植30日後頃から開始し、**2週間おきに窒素成分で3kg/10a**を目安に施用します。（野菜追肥 S535 の場合、20kg/10a）

果実の尻太りや蕾の曲がりや草勢低下の合図です。草勢が低下する前に追肥をしましょう。

(5) 摘葉

古くなり黄色くなった葉や果実を覆っている葉は、摘葉します。摘葉時は、**葉柄を残し、葉のみ摘除することによって株の倒伏や腐敗を防止**することができます。

葉柄が上向きに伸びた葉は、雨水が入りやすく、病害発生の原因となるため、摘葉は控えます。



図1 摘葉の仕方

(6) 高温対策

直近の3か月予報（6月24日気象庁発表）によると、7月～9月は気温が平年より高い見込みです。**マルチの設置は、降雨後等土壌水分を確実に確保してから**行いましょう。また、**定植後は株元かん水を行い、活着を促進**しましょう。特に、抑制作型では、高温時に圃場準備、定植を行いますので、注意が必要です。

3 大雨対策

気象庁によると、6月14日ごろに東北で梅雨入りが発表されました。大雨後は、圃場に溜まった水を直ちに排水するとともに、付着した泥土を洗い流してください。また、大雨による滞水や多湿で、軟腐細菌病やべと病の発生が懸念されます。降雨前、降雨後の防除を徹底しましょう。

4 防風対策

ズッキーニは、**浅根性で葉が大きい**ため、**風に弱く倒伏しやすい**です。作付け前は、風向きや風当たりの強さを考慮した圃場選定や畝向きにする対策を行います。

栽培期間中は、**防風ネットやソルゴーなどの障壁作物で囲う**ことで対策を行うことができます。

5 病害虫防除対策

防除予定日に雨が予想されている場合は、予定を前倒して**降雨前に防除**を実施します。また、雨が続く場合は、**防除間隔を短く**したり、**雨の合間を見て防除**したりすることで**病気の蔓延を防止**しましょう。

(1) アブラムシ類

若葉の裏側、蕾、花に発生し、吸汁加害します。**ウイルス病は、アブラムシ類によって媒介**され、生長点付近の若葉が黄色と緑の鮮やかなモザイク症状を呈します。

防除暦を参考にして、**生育初期から防除**を実施しましょう。また、ウイルス病の発病株は、直ちに除去、処分して、他株への感染拡大を防ぎましょう。



図2 アブラムシに寄生した葉裏



図3 ウイルス病の罹病株

(2) ウリハムシ

自分の体を中心にして円を描くように葉を食害します。

薬剤による防除を行う場合には、ウリハムシの活動が活発な日中は避け、朝夕に行いましょう。



図4 ウリハムシの成虫



図5 ウリハムシによる葉への食害

(3) 軟腐細菌病（腐敗）

主茎や果実が軟化腐敗し、腐敗した部分に白い菌泥が付着して悪臭を放ちます。

病原細菌は、**土壌中に存在し、高温多湿条件で増殖**します。雨によってほ場に広がり、傷口や害虫の食害痕から植物体に侵入し、被害が発生します。

降雨前の防除の実施と圃場排水・草勢維持に努めましょう。また、罹病株は速やかに抜き取り、ほ場外へ持ち出し処分しましょう。



図6 軟腐細菌病により腐敗した罹病株

(4) うどんこ病

最初は下葉に白い粉をまぶしたようなカビが発生し、のちに上位葉や茎にもみられるようになります。

高温乾燥や草勢低下によって発生しやすいので、草勢の維持に努めましょう。



図7 うどんこ病の病斑

★いわてアグリベンチャーネットメールサービス会員募集中

農作物技術情報や農村地域の情報を幅広く提供する岩手県公式サイト「いわてアグリベンチャーネット」のメール会員を募集します。

登録方法は以下のホームページをご覧ください。

URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/maillinglist.html>

★6月1日～8月31日は農薬危害防止運動実施中

使った農薬は使用履歴を記帳し、適正使用を徹底しましょう！

★クマにご注意ください！

各地でクマによる人身被害が多発しています。農作業に当たっては、クマとの不意の遭遇に十分注意してください。

★農作業中の熱中症を予防しましょう！

予防のポイントは、①暑さを避ける、②こまめな休憩と水分補給、③単独作業は避ける、④熱中症アイテムの活用です。